

しりべし経済レポート

Vol.97
(令和2年11月発行)



財務省 北海道財務局 小樽出張所

URL <http://hokkaido.mof.go.jp/otaru/index.html>

ご存知ですか？地域を支える財務局 ～財政・金融・国有財産～

1. 【令和2年7月～9月期 総括判断】

管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる

個人消費は一進一退の状況にあり、観光は厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。

住宅建設は前年を下回り、公共工事は前年を上回る。

生産は弱含んでおり、雇用は厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる。

	前回（2.4-6期）	今回（2.7-9期）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	

2. 【各項目の判断】

	前回（2.4-6期）	今回（2.7-9期）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、一進一退の状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、一進一退の状況にある	
観光	新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に悪化している	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	
公共工事	前年を上回る	前年を上回る	
生産	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	
雇用	新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる	

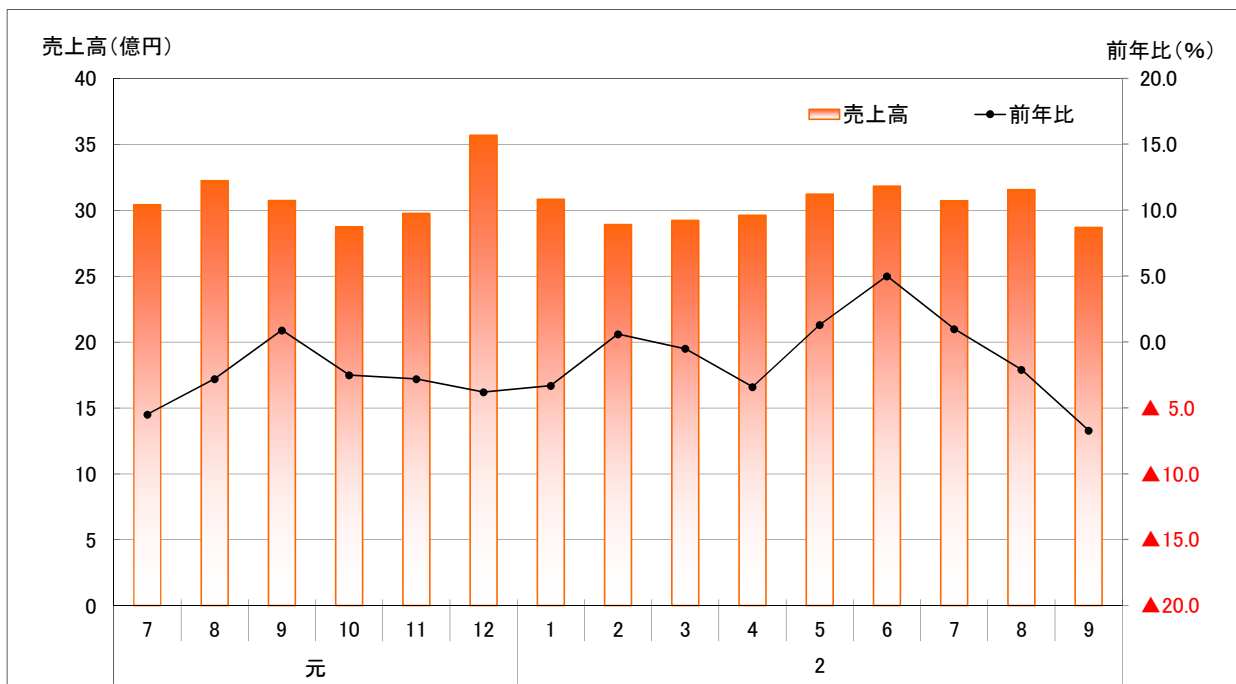
【個人消費】

新型コロナウイルス感染症の影響により、一進一退の状況にある

主要小売店売上高動向（2年7月～9月）をみると、新型コロナウイルス感染症の影響による来店客数の減少などから前年を下回っている。

新車登録・届出台数動向（2年7月～9月）をみると、納車の遅れなどから普通乗用車・小型乗用車、軽自動車ともに前年を下回っているものの、新型車は堅調となっているなど持ち直しの動きがみられる。

主要小売店売上高

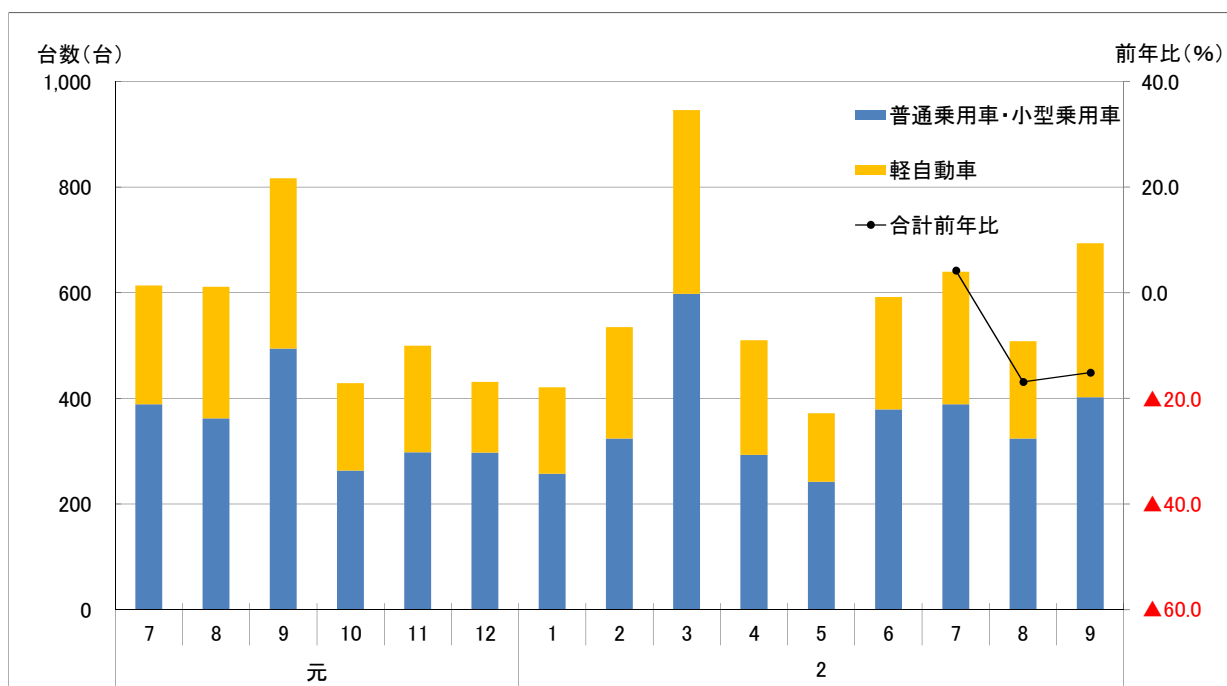


(単位: 百万円、%)

	合計		うち 飲食料品		うち 雑貨		うち 家庭用品		うち 衣料品	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
30年	37,983	▲ 1.9	22,694	▲ 1.6	3,929	▲ 3.7	3,227	▲ 2.3	1,384	▲ 2.2
31年	36,935	▲ 2.8	21,881	▲ 3.6	4,437	12.9	3,134	▲ 2.9	1,318	▲ 4.8
元. 7～9	9,340	▲ 2.5	5,516	▲ 5.1	1,193	17.4	843	1.0	316	▲ 0.3
10～12	9,416	▲ 3.1	5,489	▲ 3.2	1,115	11.4	843	▲ 8.2	354	▲ 6.4
2. 1～3	8,897	▲ 1.1	5,395	▲ 2.3	1,108	7.1	710	▲ 1.8	256	▲ 16.7
4～6	9,267	1.0	5,385	0.5	1,174	7.2	778	7.2	248	▲ 27.2
7～9	9,097	▲ 2.6	5,403	▲ 2.0	1,178	▲ 1.3	790	▲ 6.3	261	▲ 17.4
2年4月	2,961	▲ 3.4	1,752	▲ 1.1	382	2.9	250	▲ 1.2	61	▲ 43.2
5月	3,123	1.3	1,808	1.6	382	7.7	247	5.5	70	▲ 40.5
6月	3,182	5.0	1,825	1.1	409	11.2	282	17.8	117	1.2
7月	3,072	1.0	1,802	▲ 0.4	401	0.6	267	5.8	94	▲ 8.6
8月	3,157	▲ 2.1	1,902	▲ 2.6	405	0.3	270	▲ 1.6	78	▲ 16.4
9月	2,868	▲ 6.7	1,700	▲ 3.1	372	▲ 5.0	253	▲ 20.0	88	▲ 25.9

(資料) 北海道財務局小樽出張所

新車登録・届出台数



(単位: 台、%)						
	合計		普通乗用車・小型乗用車		軽自動車	
		前年比		前年比		前年比
30年	—	—	4,593	▲ 4.2	—	—
31年	—	—	4,512	▲ 1.8	—	—
元. 7～9	2,042	—	1,245	7.7	797	—
10～12	1,360	—	858	▲ 16.0	502	—
2. 1～3	1,902	—	1,179	▲ 3.3	723	—
4～6	1,474	—	914	▲ 23.2	560	—
7～9	1,842	▲ 9.8	1,115	▲ 10.4	727	▲ 8.8
2年4月	510	—	293	▲ 19.5	217	—
5月	372	—	242	▲ 42.5	130	—
6月	592	—	379	▲ 6.4	213	—
7月	640	4.2	389	0.0	251	11.6
8月	508	▲ 16.9	324	▲ 10.5	184	▲ 26.1
9月	694	▲ 15.1	402	▲ 18.6	292	▲ 9.6

(資料)北海道財務局小樽出張所

Vol97(令和2年11月発行)より軽自動車届出台数のデータを追加。
データ追加に伴い、前年比は比較可能な数値のみ表示。

個人消費に関する生の声

- ・売上高は新型コロナウイルス感染症の影響による来店客数減少のほか、昨年9月は駆け込み需要により高水準であったため、前年を下回った。なお、客単価は来店頻度を減らし、まとめ買いする客が増えたため、前年を上回った。(小売店)
- ・衣料品は新型コロナウイルス感染症の影響による外出控えから低調であった。(小売店)
- ・特別定額給付金の支給により白物家電やテレビ等は堅調であった。(家電量販店)
- ・登録・届出台数は前年を下回ったが、昨年は一部車種で駆け込み需要の動きがみられ高水準であったことから悪い状況ではない。また、受注台数は新型車が堅調となっているなど前年を上回った。(乗用車販売店)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により4～6月にかけて生産を一時停止していたため、納車に遅れが発生している。(乗用車販売店)

【先行き】

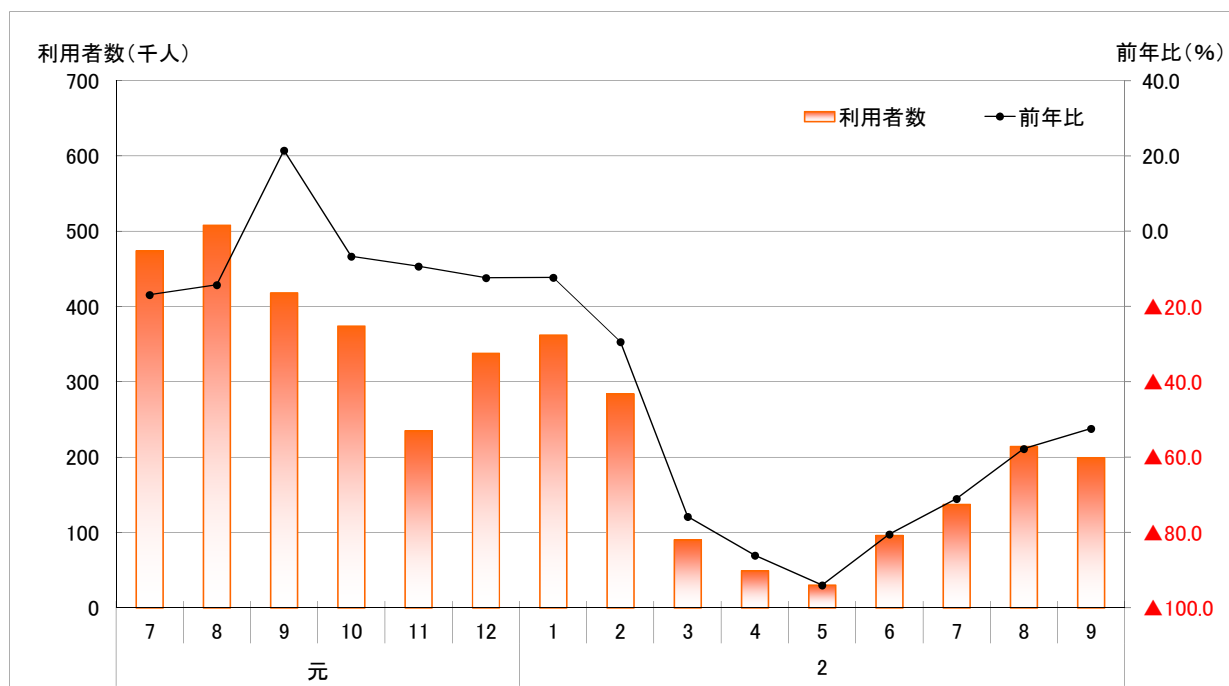
- ・10月は来店客数が例年並みに戻っていることに伴い、売上高も回復傾向にある。(小売店)
- ・10月は受注台数、登録台数ともに新型車は堅調となっているなど前年を上回る見込み。(乗用車販売店)

【観光】

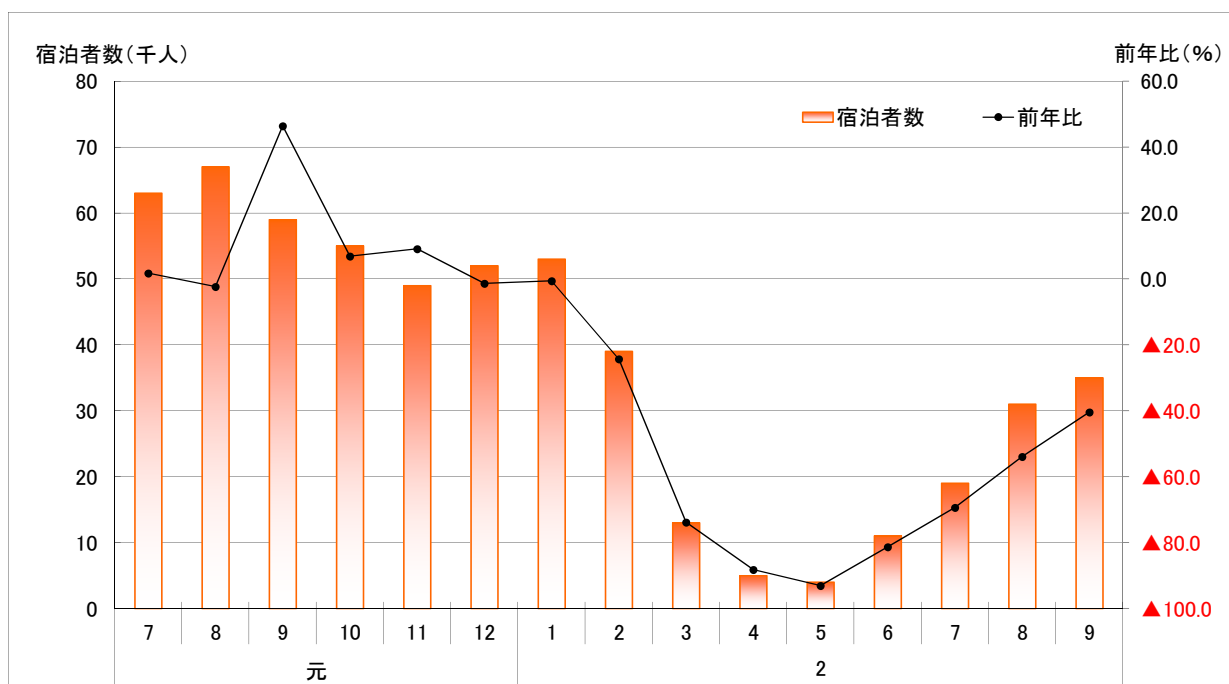
新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

主要観光施設利用者数、主要宿泊施設宿泊者数（2年7月～9月）をみると、新型コロナウイルス感染症の影響により前年を下回っているものの、どうみん割やG・O・T・Oトラベル事業により持ち直しの動きがみられる。

主要観光施設利用者数



主要宿泊施設宿泊者数(小樽市)



(単位:千人、%)				
	主要観光施設 利用者数		主要宿泊施設 宿泊者数	
		前年比		前年比
30年	5,042	▲ 4.8	603	—
31年	4,880	▲ 3.2	653	8.3
元. 7～9	1,401	▲ 7.0	189	10.6
10～12	946	▲ 9.5	157	4.6
2. 1～3	736	▲ 38.0	104	▲ 31.6
4～6	176	▲ 87.0	20	▲ 87.4
7～9	551	▲ 60.7	85	▲ 54.9
2年4月	49	▲ 86.1	5	▲ 88.2
5月	30	▲ 94.0	4	▲ 93.1
6月	96	▲ 80.5	11	▲ 81.3
7月	137	▲ 71.0	19	▲ 69.4
8月	214	▲ 57.8	31	▲ 53.9
9月	199	▲ 52.4	35	▲ 40.4

(資料)小樽市、北海道財務局小樽出張所

Vol97(令和2年11月発行)より主要宿泊施設宿泊者数のデータを追加。
データ追加に伴い、前年比は比較可能な数値のみ表示。

観光に関する生の声

- ・例年4～6月に実施されていた修学旅行の多くが8～10月に延期されており、運河沿いや堺町周辺に賑わいが戻りつつある。(観光施設)
- ・道央圏の観光客を中心に客足が戻ってきており、7月と9月の4連休時は駐車場待ちの行列ができるほど好調であった。(観光施設)
- ・7月に営業を再開して以降、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、施設の受入人数に制限を設けているほか、団体の受入を停止している。(観光施設)
- ・GOTトラベル事業が開始されて以降、道内の観光客のほか、道外の観光客の宿泊も徐々に増えており、月を追う毎に回復している。(宿泊施設)
- ・どうみん割やGOTトラベル事業により高価格帯の客室露天風呂付プランから予約が入っている。(宿泊施設)
- ・例年、宿泊者に占めるインバウンドの割合は約3割であったものの、今期はほぼゼロになってしまった。(宿泊施設)

【先行き】

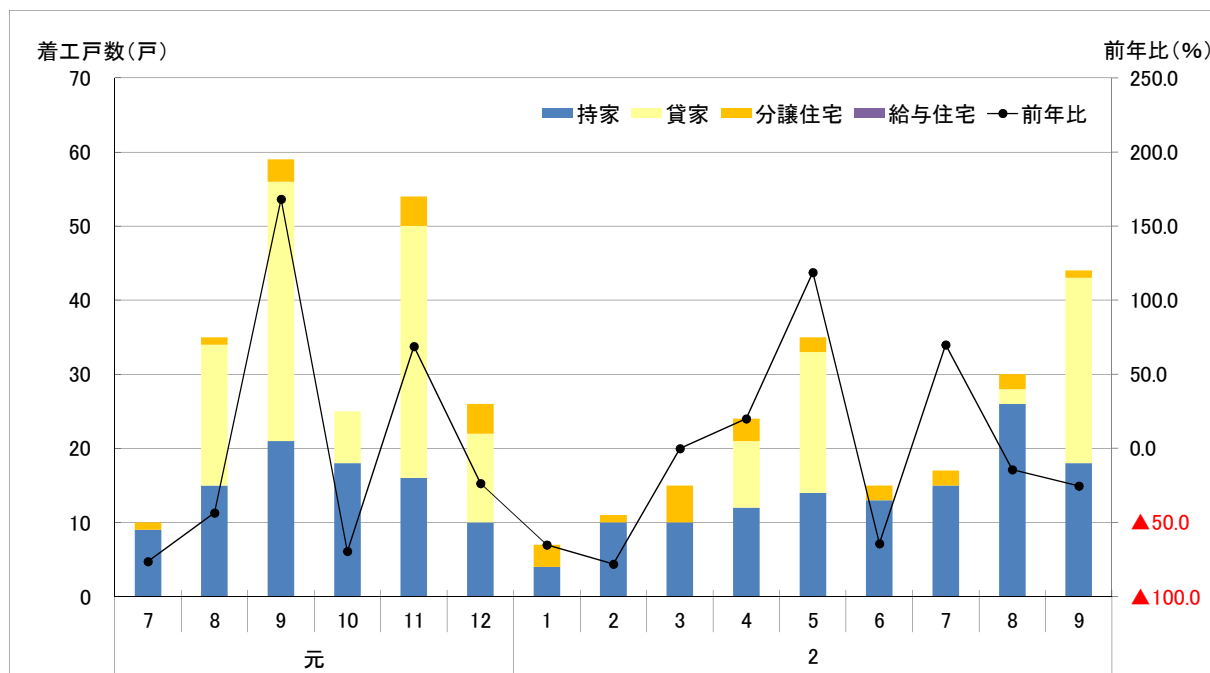
- ・地域共通クーポンの利用が開始され、観光客の約半分がクーポンを利用しており、売上の回復に貢献している。(観光施設)
- ・10月はGOTトラベル事業に東京都が追加されたことから、宿泊者数は週末のほか平日の予約も堅調となっているなど前年を上回る見込み。(宿泊施設)
- ・近年、インバウンドが冬の観光を支えていたものの、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により期待できず、厳しい状況になることが懸念される。(宿泊施設)

【住宅建設】

前年を下回る

新設住宅着工戸数（2年7月～9月）をみると、持家が前年を上回っているものの、貸家が前年を下回っていることから、全体としては前年を下回っている。

新設住宅着工戸数（小樽市）



(単位: 戸、%)										
	合計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
30年	494	1.6	165	16.2	315	5.4	1	▲66.7	13	▲69.0
31年	372	▲24.7	170	3.0	175	▲44.4	7	7.0倍	20	53.8
元. 7～9	104	▲17.5	45	▲19.6	54	▲16.9	0	0.0	5	0.0
10～12	105	▲29.1	44	▲15.4	53	▲43.0	0	0.0	8	2.7倍
2. 1～3	33	▲61.2	24	▲29.4	0	皆減	0	0.0	9	9.0倍
4～6	74	▲5.1	39	▲17.0	28	55.6	0	皆減	7	16.7
7～9	91	▲12.5	59	31.1	27	▲50.0	0	0.0	5	0.0
2年4月	24	20.0	12	▲7.7	9	2.3倍	0	皆減	3	50.0
5月	35	2.2倍	14	0.0	19	皆増	0	皆減	2	2.0倍
6月	15	▲64.3	13	▲35.0	0	皆減	0	皆減	2	▲33.3
7月	17	70.0	15	66.7	0	0.0	0	0.0	2	2.0倍
8月	30	▲14.3	26	73.3	2	▲89.5	0	0.0	2	2.0倍
9月	44	▲25.4	18	▲14.3	25	▲28.6	0	0.0	1	▲66.7

(資料)国土交通省

住宅建設に関する生の声

- ・市内の住宅着工数は、人口減少などによって減少傾向にあるものの、高齢化によって地主が土地を手放すケースが増え、市街地での住宅建設が増加している。(公的機関、建設業者)
- ・倶知安地区の住宅建設件数は、地価が上昇していることや宅地が少なくなっていることから、新幹線工事に伴う住居移転を除くと全体的に減少している。(建設業者)
- ・倶知安地区では、新型コロナウイルス感染症の影響によって、リゾート会社からの社宅の借り上げ件数が減少しているなど賃貸物件の空室が目立っている。(不動産業者)

【先行き】

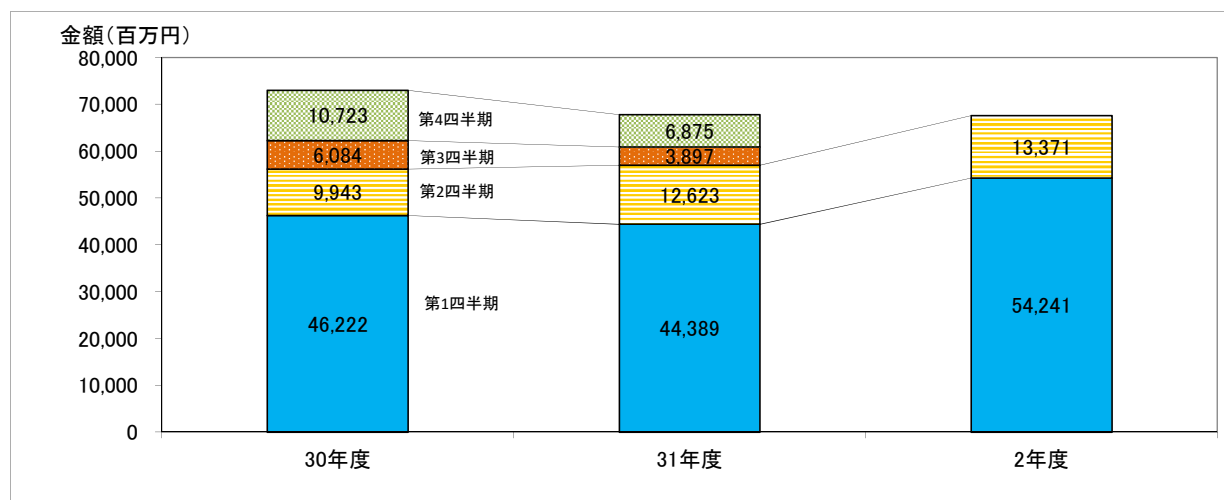
- ・倶知安地区では、ホテル建設を見据えて社宅の借り上げの相談があるなど、貸家など住宅建設に動きがみられるのではないかと。(不動産業者)

【公共事業】

前年を上回る

公共工事前払金保証請負金額（2年7月～9月）をみると、前年を上回っている。なお、年度累計でも前年を上回っている。

公共工事前払金保証請負金額



(単位: 百万円、%)				
	月間		累計(年度)	
		前年比		前年比
30年度	—	—	72,977	16.0
31年度	—	—	67,789	▲7.1
元. 7～9	12,623	27.0	57,012	1.5
10～12	3,897	▲35.9	60,909	▲2.2
2. 1～3	6,875	▲35.9	67,784	▲7.1
4～6	54,241	22.2	54,241	22.2
7～9	13,371	5.9	67,612	18.6
2年4月	30,234	23.1	30,234	23.1
5月	17,215	22.7	47,449	22.9
6月	6,792	17.2	54,241	22.2
7月	7,422	19.7	61,663	21.9
8月	3,941	▲11.3	65,604	19.2
9月	2,008	1.3	67,612	18.6

(資料) 北海道建設業信用保証㈱

(注) 各年度の累計については、元資料の計数を記載しており、端数の関係で四半期合計と合致しない。

【生産】

新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる

生産動向（2年7月～9月）をみると、生コン出荷状況は、官需が前年を上回っているものの、民需が前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

水産加工は、新型コロナウイルス感染症による需要減少などから一部に弱い動きがみられる一方で、巣ごもり消費などによって持ち直しの動きもみられており、一進一退の状態である。

金属・機械は、新型コロナウイルス感染症による需要減少などから一部に弱い動きがみられる。

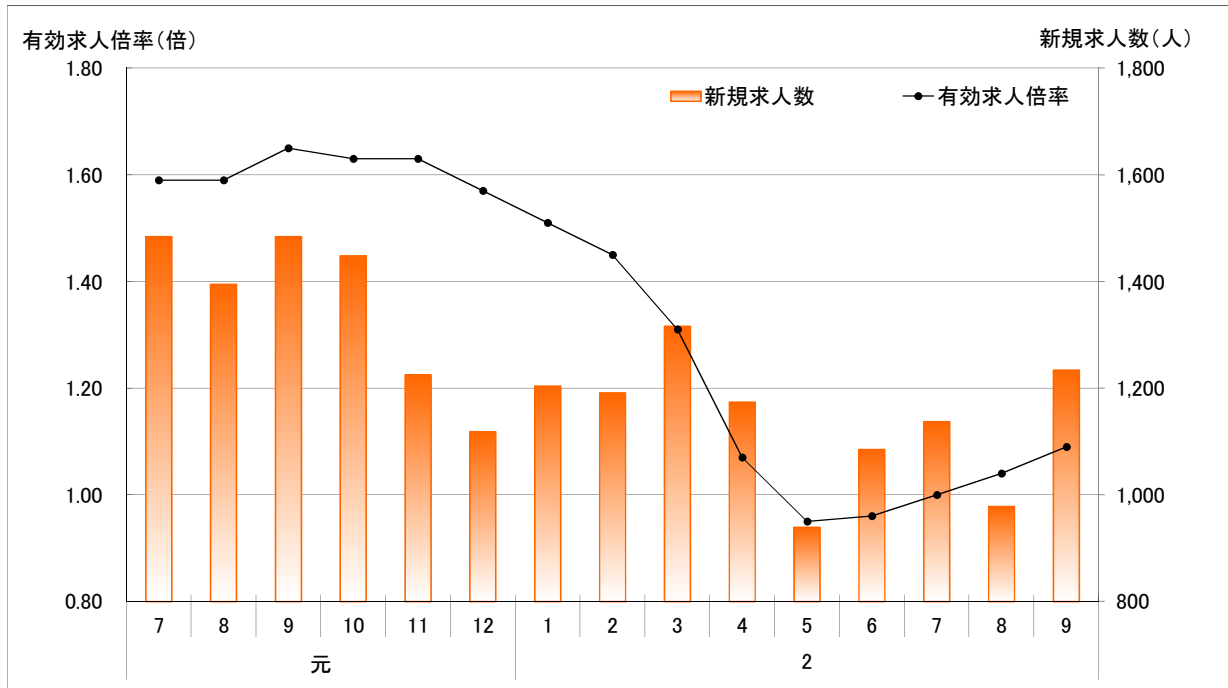
プラスチック・ゴムは、新型コロナウイルス感染症による需要減少などから一部に弱い動きがみられる。

【雇用】

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる

雇用動向（2年7月～9月）をみると、有効求人倍率、新規求人数ともに前年を下回っている。

有効求人倍率(常用・原数値)、新規求人数



(単位: 人、%、倍、ポイント)

	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		新規求職者数		新規求人数	
		前年比		前年比		前年差		前年比		前年比
30年	33,148	▲ 4.1	45,503	3.4	1.37	0.12	8,452	▲ 3.7	16,491	2.7
31年	30,966	▲ 6.6	47,564	4.5	1.54	0.17	7,946	▲ 6.0	16,938	2.7
元. 7～9	7,592	▲ 3.4	12,214	7.9	1.61	0.17	1,781	▲ 4.2	4,363	6.8
10～12	7,104	▲ 10.1	11,458	▲ 0.7	1.61	0.15	1,604	▲ 12.4	3,791	▲ 4.8
2. 1～3	7,242	▲ 9.0	10,235	▲ 14.0	1.41	▲ 0.09	2,037	▲ 10.4	3,711	▲ 18.0
4～6	9,129	9.8	9,059	▲ 24.4	0.99	▲ 0.45	2,433	6.3	3,198	▲ 24.9
7～9	8,632	13.7	9,020	▲ 26.2	1.04	▲ 0.57	1,598	▲ 10.3	3,349	▲ 23.2
2年4月	3,034	6.2	3,237	▲ 19.9	1.07	▲ 0.34	1,082	14.0	1,174	▲ 16.7
5月	3,047	8.5	2,907	▲ 27.2	0.95	▲ 0.47	689	▲ 3.6	939	▲ 34.1
6月	3,048	15.0	2,915	▲ 26.2	0.96	▲ 0.53	662	6.1	1,085	▲ 23.8
7月	2,916	14.3	2,922	▲ 28.2	1.00	▲ 0.59	576	▲ 11.0	1,137	▲ 23.4
8月	2,820	10.3	2,938	▲ 27.5	1.04	▲ 0.55	454	▲ 25.6	978	▲ 29.9
9月	2,896	16.6	3,160	▲ 22.8	1.09	▲ 0.56	568	8.4	1,234	▲ 16.8

(資料)小樽・岩内公共職業安定所
※本指標は常用と常用パートの合計である

雇用に関する生の声

・有効求人倍率は5月を底に徐々に回復しており、1.0倍を上回った。(公的機関)

【先行き】

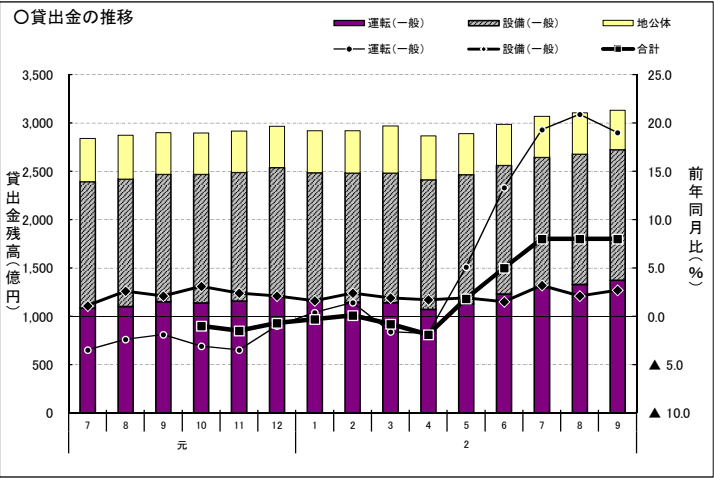
・10月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により俱知安地区の宿泊施設等からの求人の動きが鈍いなど先行きが見通せない状況である。(公的機関)

参考

【金融】

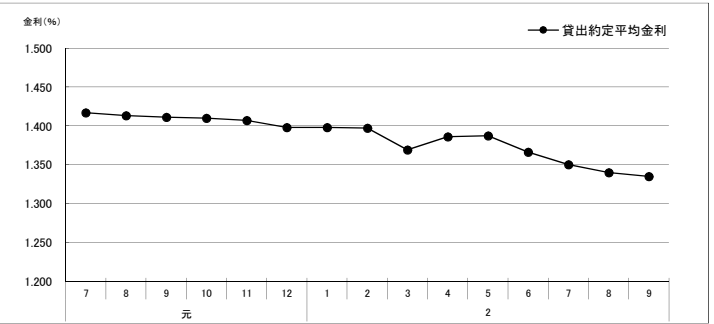
貸出金残高は前年を上回る

金融(貸出金)



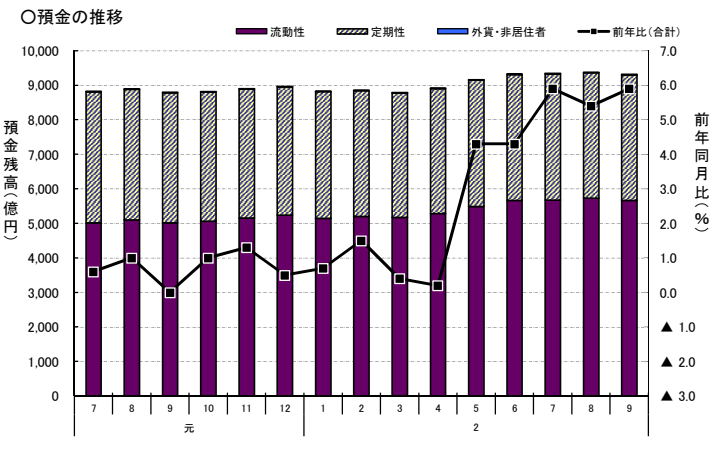
(資料)北海道財務局小樽出張所

金融(貸出約定平均金利)



(資料)北海道財務局小樽出張所

金融(預金)



(資料)北海道財務局小樽出張所

金額(百万円)					
	設備(一般)	運転(一般)	地公体	合計	前年比
31年3月	131,578	115,987	51,939	299,504	-
2年3月	134,045	114,181	48,834	297,060	-
2年4月	134,090	107,353	45,329	286,772	▲ 1.9
5月	133,715	112,911	42,374	289,000	1.8
6月	133,109	123,105	42,474	298,688	5.0
7月	134,836	129,499	42,474	306,809	8.0
8月	134,723	133,118	42,624	310,465	8.0
9月	135,066	137,188	40,731	312,985	8.0

(注) 1. (一般)は法人及び個人向けの貸出である。
2. 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫である。
3. 貸出集計先の変更に伴い過去の数値を調整のうえ修正し、前年比は比較可能な数値のみ表示。

	金利(%)	前年差(Pt)
31年3月	1.404	0.029
2年3月	1.369	▲ 0.035

	金利(%)	前月差(Pt)
2年4月	1.386	0.017
5月	1.387	0.001
6月	1.366	▲ 0.021
7月	1.350	▲ 0.016
8月	1.340	▲ 0.010
9月	1.335	▲ 0.005

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

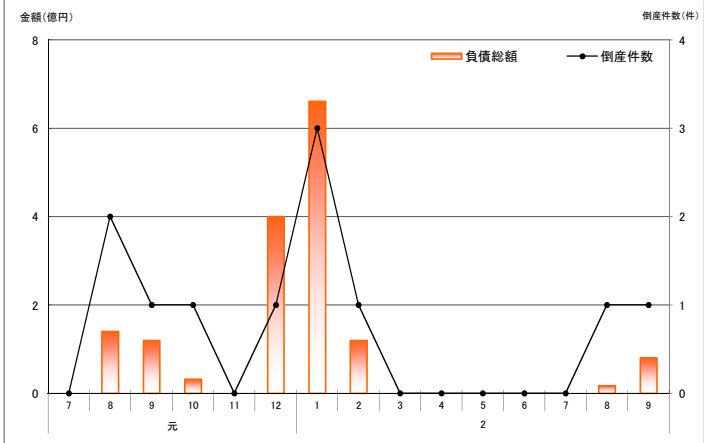
金額(百万円)					
	流動性	定期性	外貨・非居住	合計	前年比
31年3月	495,850	378,945	1,397	876,192	▲ 0.2
2年3月	517,255	360,727	1,513	879,495	0.4
2年4月	528,469	361,958	1,450	891,877	0.2
5月	549,519	365,678	1,205	916,402	4.3
6月	566,267	365,269	1,021	932,557	4.3
7月	568,042	365,156	1,138	934,336	5.9
8月	572,881	363,650	1,159	937,690	5.4
9月	566,614	363,766	1,197	931,577	5.9

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

【企業倒産】

件数、負債総額ともに前年を下回る

企業倒産(負債総額1千万円以上)



(資料)株式会社東京商工リサーチ

	倒産件数(件)	前年比	負債総額(百万円)	前年比
30年	13	▲ 7.1	1,194	▲ 95.9
31年	11	▲ 15.4	1,082	▲ 9.4

元.7～9	3	50.0	260	2.3倍
10～12	2	0.0	432	2.0倍
2.1～3	4	33.3	781	4.9倍
4～6	0	皆減	0	皆減
7～9	2	▲33.3	97	▲62.7

2年4月	0	皆減	0	皆減
5月	0	0.0	0	0.0
6月	0	皆減	0	皆減
7月	0	0.0	0	0.0
8月	1	▲50.0	17	▲87.9
9月	1	0.0	80	▲33.3

＝利用に当たっての注意＝

- ・数字の単位未満は原則として四捨五入としているため、合計と内訳の計、表中記載の前年比と表上での算出前年比が一致しない場合がある。
- ・本指標は本レポート発行時に公表されているデータを基に作成しており、原則としてその後のデータ提供先による修正を反映していない。

お問い合わせ先

財務省 北海道財務局

小樽出張所 財務課

〒 047-0007 小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

TEL 0134-23-4103

FAX 0134-22-9957